



志布志麓



# 歴史



志布志麓の魅力を全6回(隔月)にわたりお伝えします。

国道220号線から県道3号線をカギ型に曲がってたどり着く、地頭仮屋跡を中心に広がる蔵之馬場、沢目記馬場、犬之馬場、小淵馬場、西谷馬場などが志布志麓です。



西谷馬場



志布志城(内城)



沢目記馬場



志布志小学校(地頭仮屋跡)



■問い合わせ先: 教育委員会 生涯学習課 文化財管理室 指定文化財係 Tel: 472-1111 (内線 343)

## いまシシガーデンの 動画がおもしろい

### CM第三弾「元気編」発信中!

志布志市の情報発信プラットフォーム「シシガーデン」が、『志布志プロモーションCM』シリーズ第三弾を発表した。  
「元気編」と題したシリーズ第三弾は、老人ホームや市内各地のイベントで演奏活動を行っているボランティアグループ「かねもり一座」と、志布志市志布志町志布志丁目商店街でCM第一弾「自然編」でも活躍したドローンによる空撮



笑顔と笑い声にあふれた「げんき市」での撮影  
地元女性グループが地場産品を販売する「げんき市」が、コラボレーションした元気あふれる内容で構成されている。  
CMを監督したシシガーデン



プロデューサーの安田潤司氏は「五年後、十年後の志布志を考えた時、音楽やクリエイティブシーンの活性化は必須です。アートや音楽を目指して都会に出た若者が帰ってこれるようなシーンを作るためには、宣伝広告や情報発信まで含めた地方創生プランが必要になると思います。ポテンシャルは間違いなくあります。やる気のある若者がいますから。」と語った。  
今年度も「志あふれるまち志布志」の情報発信プラットフォーム「シシガーデン」から目が離せない。

### 目指せ「日本一」 チャレンジャー応援事業

#### 新しい補助制度を新設

志布志市では、環境、健康、教育、子育て、グルメなど様々な分野において日本一づくりに取り組んでいます。

市民に夢と希望を与え、住んで良かったと自信と誇りが持てるよう、市の知名度、認知度が高まるSNS記録への挑戦や全国大会などの話題性に富んだ「日本一」にチャレンジする事業に、事業費の全額及び一部を補助し、そのチャレンジを応援する補助制度を新設しました。

- 条件
  - ・ 市民であること
  - ・ 団体の場合、3人以上の構成で過半数が市内在住者、代表者が市民であること
  - ・ 主たる活動の場が市内であること
  - ・ 団体等の運営費や食料費、構成員の人件費等は対象外
  - 補助額等
    - ・ 一件の上限額は50万
    - ・ 同一年度内は1回まで

#### 志布志麓ってなんだろう?

志布志麓に住んで十余年になりました。引越してきたところ麓集落で枝垂れ梅の植樹がありました。今では幹が太くなり花芽も付き始めました。また蔵之馬場から前川沿いの散歩道には点々と柳が風になびき、一帯を歴史の町らしく演出しています。

この辺りの屋敷は石垣などで囲われ志布志小学校(地頭仮屋跡)の校庭は市街地でありながら大きな梅、銀杏、榎があり、隣の神社や民家にも歴史を感じ

#### じさせる木が並んでいます。

ここ数年で朝光案内板が整備され志布志小学校の隣や宝満寺跡にトイレと休憩所が設置されました。見学するには随分と便利になりましたが、奥行き深い麓地区の歴史と素顔を理解するには多少の予備知識が必要だと思います。

というのも私が麓地区に引越してきて、まず疑問に思ったのが「なぜこのお家の辺りを麓と言っているのか」ということです。麓は、普通は高い山の裾を指すのですが、志布志麓は志布志城と湧水のある谷間や前川沿いがあります。麓境の

志布志津(津)は大阪をのり下がる琉球との交易も盛んで薩摩藩内でも重要な位置づけがありました。理解するには暫くかかったのが正直なところでした。

かつて薩摩藩は領内を百を超える地区に分け、単独、単行、単行の中心として地頭仮屋を置きました。これは外城制度といわれるもので、地頭仮屋を囲むように郷士と呼ばれる武士たちの居住地があり、ここが「麓」と呼ばれているのです。

写真・文: 東郷恵子(志布志麓住人 落語大好き)